

本時のねらい

・欲求不満に適切に対処することができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・タブレットのシンキングツールを活用することで、筋道を立てて自分の考えを整理し、課題解決に向けて取り組むことができる。
・ロイロノートで仲間の意見や考えを共有し、新たな考え方の発見や他者への理解につなげる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ iPad ・ロイロノート ・PowerPoint ・テレビモニター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ●前時の復習（心と体の関わり） 芸術祭の場面を思い出し、気持ちと体の変化を考える。 	
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ●欲求の発達 自分の欲求不満を書き出し、その欲求不満がどんな段階かを知る。 ●欲求不満への対処 不適応な状態が心や体に表れた反応があることを理解し、自分の欲求不満の対処法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットのシンキングツールを活用することで、筋道を立てて自分の考えを理解し課題解決に向けて取り組むことができる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ●例であげた場面について、学習班で対処法を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートで友達の意見や考えを共有し、新たな考え方の発見や他者の理解につなげる。

1人1台端末を活用した活動の様子



自分の欲求不満をロイロノートのカードに書き出している場面



画面配信されたみんなの欲求不満を共有している場面



欲求不満への対処法を考えている場面

児童生徒の反応や変容

子どもたちは、他の友達がどのような欲求不満を抱いているのか、とても興味がある様子だった。授業の最初に「欲求不満にどのように対処しているか」と聞いたときには、ほとんどの意見が、欲求不満を解消しない、防衛機制に当てはまるものだった。授業を通して、友達の欲求不満の対処方法を知ったり、正しい対処方法を学んだりすることで、解消に向けて努力するといった対処法を導き出していた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

ロイロノートのシンキングツール（くまでチャート）を使用することで、自身の欲求不満を元に、その対処法を深く細部まで考えることができた。テレビモニターにはパソコンのパワーポイントスライドを、生徒のiPadにはロイロノートの画面共有したスライドを提示することで、友達の意見や考えをそれぞれに映すことができた。他の生徒のアイデアを参考にしながら、自分の考えをまとめることができた。